

(目的) リんごの栄養学的特徴として、Vit.Cの酸化については、Vit.C酸化酵素はその作用が微弱であるが、他の酸化生成物による二次的酸化が著しく、またりんごの酸化型Vit.Cは他の果実や蔬菜類のそれに比べ耐熱性が強く、さらに体内蓄積性も優れていることなど既に報告して来た。

今回はりんごの摂取が高血圧予防に有効であり、それはりんごのKがNaの代謝に関与するという報告があるが、この点を明確にするべく、Ratによる代謝試験を試みた。

(方法) Wistar系Ratを代謝ケージで飼育し、基本飼料正を対照とし、試験正にはNaClとりんご、ホーレン草、およびKClを投与し、各正の摂取Na量、K量と尿中のNa、K量とを焰光分析法によって測定し、りんご投与正の特異性が認められるか否かについて考察した。

(結果) KCl, NaClのK, Naの吸収率は100%近いが、りんご汁のKの吸収率は90%、りんご粉のK吸収率は60%で利用率が低い。

またNaClとりんごとを混合投与することにより、必ずしもNaの排泄が影響される傾向は見出し難く、ホーレン草正、KCl正と殆ど変わらない結果で、高血圧に対するりんごの薬餌的作用は、りんごのKによるとは認め難い結果を得た。